

アウトドア・ライフコーディネーター  
1年目

あさの ゆうり  
**浅野 侑利**

愛知県名古屋市出身

令和6年10月から「SUP（スタンドアップパドルボード）を中心とした、市民がアウトドアを楽しめる環境づくり」について、活動中！



令和6年10月から「SUP をきっかけとした、市民がアウトドアを楽しめる環境づくりやアウトドア観光の推進」を目的にアウトドアライフ・コーディネーターとして活動しています。



令和7年7月12日（土）、13日（日）に『大雪 旭岳 SEA TO SUMMIT 2025』に留萌市職員とチームで参加しました。

SEA TO SUMMIT は、『モンベル』が事務局となり、イベント名の『SEA TO SUMMIT』が意味するとおり、海（SUP、カヤック）から里（自転車）、そして山頂（登山）へと進む中で、自然の循環に思いを巡らせ、かけがえのない自然について考えようという環境スポーツイベントです。

今回参加させていただいた大雪 旭岳大会のコースは忠別湖をカヤック、SUP で約5km、忠別湖から旭岳ビジターセンターまで自転車で約14km、北海道最高峰の旭岳の登山を約3kmというコースでした。

総距離約22km、獲得標高1,385mというコースでしたが、大会はタイムや順位を競うものではないので、大雪エリアの雄大な自然、美しい風景を見ながら、チームの仲間と一緒に楽しむことができました。

普段はSUPを中心に活動しているのですが、今回、自転車や登山を体験することができ、水の循環やいつもとは違った自然の魅力を自分の足で体感できる貴重な経験となりました。



また、るもいエリアも海があり、自転車で暑寒別岳の登山口までいけるので『SEA TO SUMMIT』が楽しめる場所であると改めて感じました。

海も山もある恵まれた環境のるもいエリアで、もっとアウトドアアクティビティの愛好者が増えていくといいなと感じました。



活動日記

留萌市地域おこし協力隊

VOL.4

SNSで  
活動内容を  
発信中！



Facebook  
(協力隊)



instagram  
(アウトドア)